

厚生労働大臣 最優秀賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード	(介護予防・高齢者生活支援分野)
企業・団体・自治体等の名称(所在地) 株式会社堀内組 見守りネットワークきずな事務局 (長崎県 佐世保市)	
活動範囲: 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 ■ 1. 複数の市区町村にまたがる広域 □ 2. 市区町村内の概ね全域 □ 3. 中学校区単位 □ 4. 小学校区単位 □ 5. 自治会単位 具体的に(【例】〇〇地区、合併前の〇〇町): 相浦地域包括支援センター管轄(日野・中里・皆瀬・相浦※黒島 高島除く)・大野地域包括支援センター管轄(春日・大野・柚木) 清水地域包括支援センター管轄(金比羅・赤碕・九十九・清水・大久保)、佐々町地域包括支援センター管轄内	
取組・活動名: 高齢者の生活支援見守りネットワークきずな	
ホームページ URL: horiuchi-g.co.jp/kizuna/ または、「見守りネットワークきずな事務局」にて検索	

(取組開始年度) 平成 23 年度 (訪問対象者) ①原則 60 歳以上の方で住み慣れた自宅で自分らしい生活を行うために、ちょっとした手助けが必要な方②日々の買い物などに不自由している方 (高齢者・障害者など) ③介護保険の申請はする (している) 予定だが、すぐに買い物や掃除等の支援が必要な方④介護保険での訪問介護を利用しているが、さらに掃除や買い物・見守りが必要な方 (取組・事業概要) ①買い物代行・商品配達②生活支援 (便利屋) ③灯油配達④お元気確認訪問…利用希望者からの連絡を待つだけでは、困っている人が声を上げにくいのではないか? 声を掛けやすい対応が必要ではないか? との考察に至り、開始に至る。(その他の取組) ⑤協力店会議の実施⑥「きずなの会」実施。年 2 回開催。事務局の活動に協力・ご賛同いただいている様々な立場の方に参加いただき、地域・行政・商店の枠を超えて、意見交換を実施。⑦地域行事への参加⑧きずな通信の発行 (取組が行われた背景・経緯・特徴) 当初、長崎県の「買物弱者支援システムモデル事業」の採択を受け、事業開始。買物弱者を対象に買物代行業をモデル事業的に実施することで、高齢者等の安否確認及び、日常生活の不便さを解消する事を目的としていた。利用者に関わる中で、買い物以外の些細な日常の困りごと (電球の交換や大きな家具を移動させたい・日常生活全般で困っているが、どこに相談すればいいかわからない) など、多岐にわたり、個々の抱える問題・ニーズが判明した。平成 24 年度からは「生活支援 (便利屋) 有料サービス」「無料のお元気確認訪問」を開始。当事務局は、地域の見守りネットワークの事務局的存在を目指し、地域住民・民生委員・商店・行政・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・病院等と連携し、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごせる環境の提供を目指している。更に本事業は現在補助金等の資金を活用せず、総合建築業の (株) 堀内組の地域貢献事業の一環として社内収益部門との組み合わせにより事業費を捻出している。今後は介護周辺サービス事業としてのビジネス性を模索している。(取組の結果)・利用者のニーズに柔軟に対応し、利用者の日常の些細な困りごとの解決につながり、在宅生活の維持・生活の質の向上につながっている。・地域包括支援センターなど他職種と連携を図ることにより、本人のニーズに応じた、フォーマル・インフォーマルなサービスへの円滑な検討や移行をおこなう事ができている。

取組・事業の概要がわかる写真や図:

利用状況 平成 24 年度～平成 26 年度

	総人数	利用 件数	買物 代行	生活 支援	お元気 確認訪 問	その他
平成 24 年度	88	502	223	15	130	134
平成 25 年度	124	1169	369	428	140	232
平成 26 年度	164	2558	558	881	440	679
合計	376	4229	1150	1324	710	1045



きずなの会



地域行事参加



生活支援 (付添い)



生活支援 (掃除)

厚生労働大臣 企業部門 優秀賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)	
企業・団体・自治体等の名称(所在地) 株式会社ミタカ 熊本県上益城郡嘉島町上仲間 850-2	
活動範囲： 下記より一つ選んで、口を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 ☒ 1. 複数の市区町村にまたがる広域 ☐ 2. 市区町村内の概ね全域 ☐ 3. 中学校区単位 ☐ 4. 小学校区単位 ☐ 5. 自治会単位 具体的に：熊本市 八代市 宇城市 山鹿市 水俣市 人吉市 玉名市 荒尾市 天草市 上天草市 阿蘇市 菊池市 宇土市 合志市 美里町 益城町 山都町 嘉島町 湯前町 多良木町 錦町 あさぎり町 小国町 南小国町 玉東町 和水町 長洲町 芦北町 氷川町 菊陽町 御船町 南関町 津奈木町 五木村 球磨村 相良村 水上村 山江村	
取組・活動名：高齢者の健康と生きがいづくりに関する取組	
ホームページ URL：http://www.t-mitaka.com/	
取組・事業の概要と特徴：弊社は昭和58年創業の介護保険福祉用具貸与事業所です。平成18年度より介護予防事業に参入し、平成27年度をもって10年目を迎えます。民間企業でありながら、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、健康運動指導士等の有資格者が在籍し、10年間で熊本県内37の自治体と協力しながら、高齢者の健康づくりと生きがいづくりに関する取組を行っています。高齢者に『自分の脚で歩く“自信”を持ってもらう』ことをコンセプトとし、ストレッチや筋力トレーニングを初め、スクエアステップやノルディックウォークなど、様々なツールを活用することにより、高齢者が自らの脚で歩いて地域の活動に参加し、いつまでも地域とのつながりを持って尊厳ある暮らしが出来るように支援しています。また、体力測定や自立体力全国検定、PhysionMDによる体組成測定などによる評価を行い、参加者のモチベーションのアップにつなげ、それらのデータを蓄積することで効果の検証を行い、運動内容や支援内容の見直し、指導者のスキルアップを図ってきました。これからも参加者をはじめ、ご支援下さる全ての皆様方への感謝の気持ちを忘れず、『熊本県を健康寿命日本一に！』というスローガンの下、運動と食事を通して、中高年者の健康づくりに寄与していきたいと思ひます。	取組・事業の概要がわかる写真や図：

厚生労働大臣 団体部門 優秀賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)	
企業・団体・自治体等の名称（所在地） 鹿児島県大島郡徳之島町金見地区	
活動範囲： 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 □1. 複数の市区町村にまたがる広域 □2. 市区町村内の概ね全域 □3. 中学校区単位 □4. 小学校区単位 ■5. 自治会単位 具体的に（【例】〇〇地区、合併前の〇〇町）： 徳之島町金見地区	
取組・活動名： 元気な集落は、憩い場から～金見水曜クラブ～ サロン活動を中核とした地域活性化！！	
ホームページ URL：—	
取組・事業の概要と特徴： 【取組・事業概要】 毎週水曜日（13時～17時）にサロン拠点が開放され、地区の高齢者が自由に集い、脳トレ、体操、季節毎の行事等が行われている。 金見地区は、町の中心部から車で50分程度要する僻地であり、人口93人の小さな集落だが、従来から地域の支え合い・見守り活動等の互助活動が根付いている。本サロンは15年前、島外に転出した地域住民が自宅を開放したことから始まった。個人宅であることから参加者が限られていたが、平成25年度に県の補助事業である「地域支えあい体制整備事業」を活用し、集落中心部にある空き倉庫を改修し活動拠点整備を行い、また、平成26年度より自主地域サロンの運営が集落委託事業となったことで、集落ぐるみの活動に発展し、運営の担い手や参加者が増え更に盛んになっている。 【特徴】 本地域サロンは、地域の高齢者の介護予防とともに、介護が必要になっても、住み慣れた地域での生活が継続できる地域の実現のための地域資源の一つである。地区の高齢者の約半数が参加し、そのほとんどは後期高齢者であり、毎週参加を継続することで、心身機能の維持や認知症の予防につながっている。参加者同士で健康チェック（血圧の測り合い）を行う等、参加者一人一人が役割をもち、参加者の意向を大切に活動に	取組・事業の概要がわかる写真や図： 

主体的に取り組めるようボランティアの方々が支援している。

運営ボランティアにより、閉じこもりがちな高齢者にも声かけ・送迎を行い、認知症や要介護の方も通い続けることができる集いの場となっている。

時には、子どもたちも参加し世代間交流の場ともなり、地区住民が拠点周辺の環境整備や行事の準備を手伝うなど、地域ぐるみで活動を支援し、地域のこどもから高齢者まで、地域住民全体で交流し支え合う地域づくりにつながっている。

厚生労働省老健局長 企業部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード（介護予防・高齢者生活支援分野）

企業・団体・自治体等の名称（所在地）：掛川市（静岡県掛川市）

活動範囲： 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。

□ 1. 複数の市区町村にまたがる広域 ■ 2. 市区町村内の概ね全域 □ 3. 中学校区単位 □ 4. 小学校区単位 □ 5. 自治会単位
具体的に（【例】〇〇地区、合併前の〇〇町）：掛川市全域

取組・活動名：住み慣れた地域で最期まで暮らせる支援拠点「ふくしあ」（地域健康医療支援センター）の取り組み

ホームページ URL：http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/iryuu/fukusia.html

取組・事業の概要と特徴：

■取組の概要

多職種連携による総合的な在宅支援の地域拠点

～行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会、訪問看護ステーションがタッグを組み、市内5か所で総合的な在宅支援策を展開～

「健康・子育て日本一のまちづくり」を目指して「住み慣れた地域で最期まで暮らせる」ように、医療、保健、福祉、介護を多職種連携により総合的な支援を行う地域拠点「ふくしあ」（地域健康医療支援センター）を市内5ヶ所に整備し、市民の暮らしを支えています。

■取組の特徴

① 垣根のないきめ細やかな支援

・年齢や健康状態で垣根をつくらず、全ての地域住民を対象とした横断的な支援体制

② 迅速な多職種連携

・住民からの相談に対しては、入所団体内の専門職をはじめ、地域の民生委員や地区役員、ケアマネジャーなど多くの関係機関で力を合わせ対応
・専門職の多職種連携を促進するため、問題を把握したときにすぐにチームで介入

③ アウトリーチの重視

・来所できない方にも地域に出向き対応する、アウトリーチ活動を行い早期対応

④ 予防的な視点を重視

・地域からの情報発信を早期に受け止め、問題が重症化する前に総合支援体制に繋げる。

⑤ 先駆的な面的整備

・「中部ふくしあ」と同一敷地内に、地域医療、地域包括ケア、住まいを支える拠点として、医療、保健、福祉、介護、教育の中核ゾーン「希望の丘」を整備（旧病院跡地を活用）

取組・事業の概要がわかる写真や図：



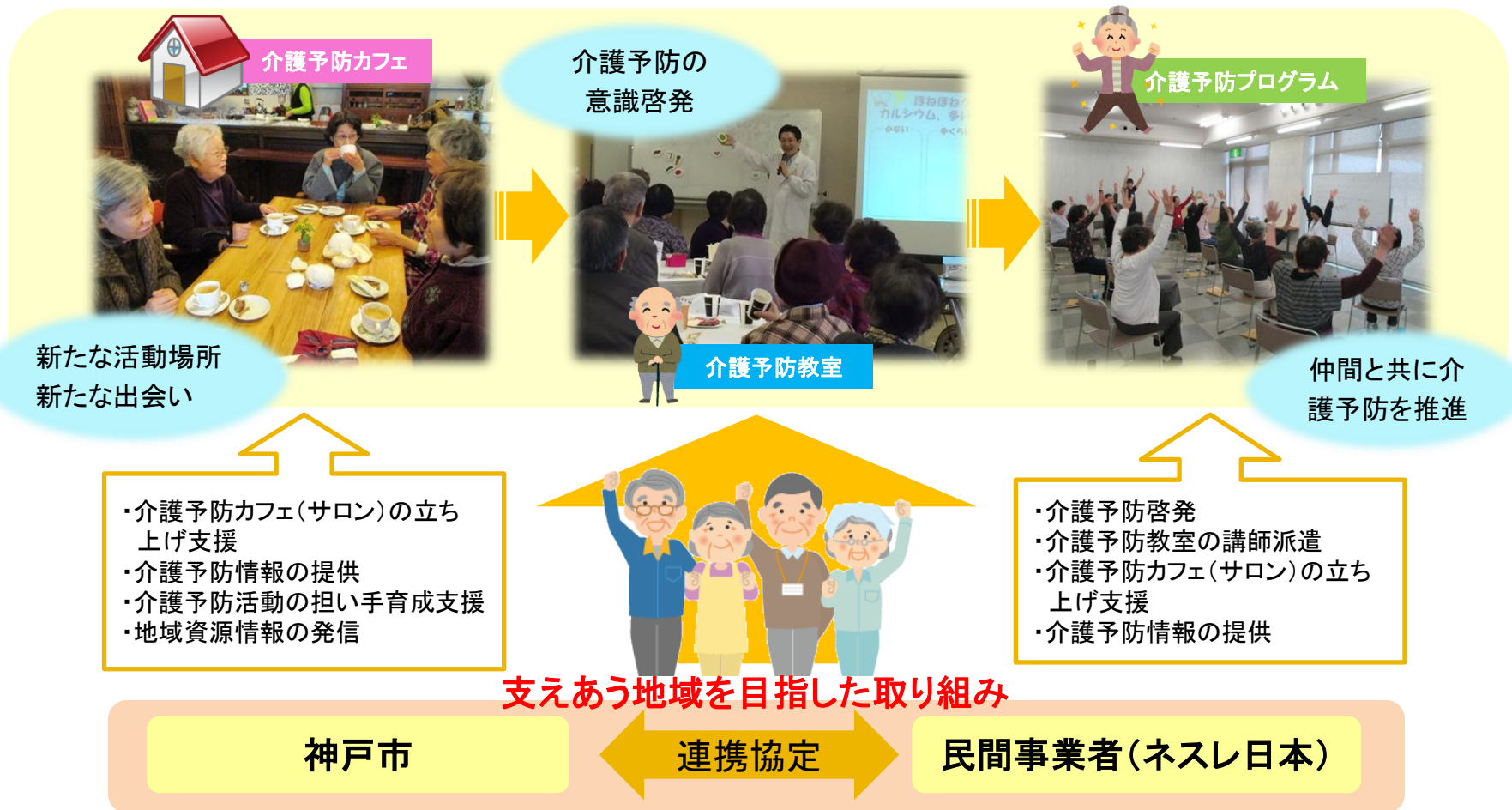
市内5ヶ所に整備

- ① 東部ふくしあ
- ② 中部ふくしあ（「希望の丘」内）
- ③ 西部ふくしあ
- ④ 南部大東ふくしあ
- ⑤ 南部大須賀ふくしあ

厚生労働省老健局長 企業部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)	
企業・団体・自治体等の名称（所在地）：ネスレ日本株式会社(兵庫県神戸市中央区御幸通7-1-15)	
活動範囲： 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 □1. 複数の市区町村にまたがる広域 □2. 市区町村内の概ね全域 ■3. 中学校区単位 □4. 小学校区単位 □5. 自治会単位 具体的に（【例】〇〇地区、合併前の〇〇町）：	
取組・活動名：こうべ 元気！いきいき！！プロジェクト	
ホームページ URL： http://www.nestle.co.jp/nhw/senior/home (ネスレ日本株式会社) / http://www.city.kobe.lg.jp/life/support/carenet/kaigoyobou_panda/yobou_salon/yobou_cafe.html (神戸市)	
取組・事業の概要と特徴： 平成25年10月にネスレ日本株式会社と神戸市「こうべ 元気！いきいき！！プロジェクト」にかかる連携協定を締結し、①介護予防カフェの実施②介護予防プログラムの実施③介護予防教室の講師派遣④介護予防の啓発活動の4つの柱で展開。ネスレ日本株式会社が有する栄養や健康に関するノウハウを活かして、神戸市とともに、情報発信力を強化し、魅力ある取り組みを行うことにより、多くの高齢者の方々に介護予防に取り組んでいただけるよう、介護予防を推進している。 この「こうべ 元気！いきいき！！プロジェクト」の始動により、介護予防に対する市民の関心が高まり、介護予防カフェに対する問い合わせの増加や、高齢者の集いの場の立ち上げにつながった。介護予防カフェのリーダーをカフェマネジャーと位置付け、カフェマネジャーに対し隔月で介護予防カフェ通信（ネスレ作成）やその他介護予防情報等を発信。 介護予防カフェのマンネリ化を防ぐ手立てとして講師（専門職）を派遣し、カフェ参加者に対する介護予防教室を開催している。また、カフェマネジャーを対象としたフォローアップ研修を開催し、カフェマネジャーのモチベーション維持を図る予定。 介護予防カフェは住民主体の集いの場であり、高齢者自身も担い手となって活躍されている。支援が必要な高齢者が特技を他の参加者に披露する場面がみられる等、生きがいや役割につながっている。また、集いの場が増えたことにより、既存の場には参加されていなかった高齢者が参加されるようになり、閉じこもり防止にもつながっている。	取組・事業の概要がわかる写真や図： (別紙パワポ資料参照)

こうべ 元気！いきいき！！プロジェクト



目的

民間事業者のブランド力や情報発信力を活かし、高齢者の社会参加を促すきっかけづくりと、継続した活動による住民同士の支え合い(つながり)により、介護予防を推進するまちづくりを目指す

※平成26年度実績・・・介護予防カフェ 39か所オープン

こうべ 元気！いきいき！！プロジェクト



介護予防カフェ



多様なカフェの展開
(個性あふれる
カフェの形)



27年度の展開

- ・平成27年度に入り、57ヶ所(平成27年9月末現在)へ。
- ・地域住民×地域教育機関や地域の高齢者×地域の子育て世帯、地域の高齢者×小学生等、地域の強みを生かし、ニーズに沿ったカフェが展開されている。



隔月で介護予防情報(介護
予防カフェ通信)を神戸市の
健康情報等とともに発信

普及啓発



厚生労働省老健局長 企業部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)

企業・団体・自治体等の名称(所在地)：羽立(はたち)工業株式会社(静岡県湖西市)

活動範囲： 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。

- 1. 複数の市区町村にまたがる広域 □ 2. 市区町村内の概ね全域 □ 3. 中学校区単位 □ 4. 小学校区単位 □ 5. 自治会単位
具体的に(【例】〇〇地区、合併前の〇〇町)：

取組・活動名：健康寿命をのばそう！ いつまでもたのしく、オシャレに、かっこよく！アクティブシニアを応援 仲間と一緒に自立体力プログラム

ホームページ URL：http://www.hatachi.jp/

取組・事業の概要と特徴：

■取組の概要

健康づくりの環境づくりを応援

～健康寿命をのばす3つのしくみ！～「かんたん」「たのしい」「やる気のスイッチ ON」

日常生活に必要な「自立体力」を維持向上し、いつまでも自分のことは自分でできる中高年の増加を目的とした「自立体力プログラム」を国立大学法人静岡大学との共同研究で開発し、県内外で普及を図っています。

【自立体力プログラム】

- ① 自立体力テスト：自立体力向上を測定し確認(歩行能力、手作業能力、身体調整能力、姿勢変換能力)
- ② 自立体力トレーニング：自立体力4つの能力を簡単な器具を使ってトレーニング。
- ③ 自立体力プランナー認定講座：地域における運動機能向上の指導者を育成

■取組の特徴

- ① 体力の衰えを客観的データで可視化し、予防的に介入する仕組み

体力測定等から体力年齢を算出し検定級を認定します。全国で初めて男性 85 歳以上、女性 90 歳以上の評価基準を設け、全ての高齢者に対応できるもので、検定上位者を表彰しています。

結果伝達にあたっては、既存の介護予防の取組を情報提供するなど、次の行動に繋げる後押しを支援しています。

- ② 取組の全国的な普及

プログラムは 30 都道府県で実施され 300 団体が参加し、その団体が所管する約 700 グループ(地区サロン、体操教室、地区シニアクラブ等)と地域での展開が年々拡大しています。

検定には約 10,000 人(2015.4 現在)が参加。また、体験事業、講演会、研修会等を含めると約 20,000 人が参加している。国際協力機構(JICA)と連携により海外への展開も図られています。

取組・事業の概要がわかる写真や図：



厚生労働省老健局長 企業部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)	
企業・団体・自治体等の名称(所在地): 生駒市健康づくり推進員連絡協議会(奈良県生駒市)	
活動範囲: 下記より一つ選んで、口を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 ☐ 1. 複数の市区町村にまたがる広域 ☒ 2. 市区町村内の概ね全域 ☐ 3. 中学校区単位 ☐ 4. 小学校区単位 ☐ 5. 自治会単位	
取組・活動名: ひまわりの集い	
ホームページ URL:	
取組・事業の概要と特徴: 生駒市における総合事業の対象者である要支援1・2の認定者や事業対象者で、地域包括支援センターが行う介護予防ケアマネジメントに基づき、虚弱な高齢者が定期的に集える場(多様なサービスの「通所型B」として実施。事業は週に1回と隔週1回の教室があり、午前10時半から午後1時までの中で、軽体操や歌体操を始め、脳の活性化を図るための脳トレの導入や仲間づくりを意識したレクリエーション等、多様なサービス内容を展開している。毎回、献立を考え手作りの料理を参加者の目の前で調理し、時には一緒に作るなどしながら、皆でわいわい語り合いながら、会食するサロンである。後期高齢者の参加が多いが、過去に体操を特技としていた人が参加者になると、その参加者にレクリエーションや軽体操の一部を担っていただくなど、部分的なリーダーで活躍いただくことで、その日の主役となり、次回も小出しで何か披露しようと日々の生活でも脳を活性化させるなど、認知症予防や介護予防につながっている。他、虚弱な高齢者が多いため、杖を突いて歩く人には、自立歩行が可能な高齢者がそっと手を差し伸べるなど、自然な形で相互にいたわりあう姿が生まれている。多様なサービスでの取組のため、介護認定の更新時期を迎える人もおられ、ひまわりの集いに参加を継続したいという思いから体操や健康づくりに励まれ、介護度が重くならないよう努力しながら、週に1回の教室を心待ちにされている。	取組・事業の概要がわかる写真や図:

事業例の紹介

ひまわりの集い～会食サロン～

生駒市健康づくり推進員連絡協議会に委託して事業実施
地域支援事業の一次予防事業～介護予防・生活支援サービスに移行

第4回健康寿命を延ばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)で**優良賞**獲得！！

藤尾氏



最初は、女性が中心に活動。現在は活動の半分が男性。男性の方が真面目で、気配りが上手。企画や運営もスムーズと藤尾会長！役割分担してもらうことでより活動が活性化。現在は、地域巡回型も一般介護予防事業で展開。サロン等に出向き、サロンの活性化に寄与。

270名の会員を束ね、庁内の催し物にほぼ協力参加している。食を通じた健康づくりを主に推進しており、過去に高齢者の訪問事業等の一緒に展開してきている。総合事業に移行して以降、全国からの視察や各地からの講演依頼が会長の元に届いている。

★参加者が介護認定を更新し、要介護2になったところ、介護サービスは自費とし、認定を取り下げ参加中。

★みんながデイサービスに行きたいわけではないことを知ることが大事！

厚生労働省老健局長 団体部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)	
企業・団体・自治体等の名称(所在地): NPO法人中・西会(東京都葛飾区)	
活動範囲: 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 □1. 複数の市区町村にまたがる広域 □2. 市区町村内の概ね全域 ■3. 中学校区単位 □4. 小学校区単位 □5. 自治会単位 具体的に(【例】〇〇地区、合併前の〇〇町): 栄飾区四つ木1丁目地区	
取組・活動名: 中・西会のつどい	
ホームページ URL:	
取組・事業の概要と特徴: 現中・西会副理事長の「高齢者が健康で豊かな老後を送るため、安心して暮らせる町づくりをしよう」との呼びかけに賛同した四つ木一丁目の二つの町会と三つの高齢者クラブ、地元商店街が一つになって平成17年に発足。その後、高齢者の相談窓口として「よろず相談窓口」を開設。平成22年からは葛飾区との協働事業として食を共にしながらふれあい、楽しむ「ふれあい共食会」を開始。区との協働事業によって、スタッフと参加者に加え地元ボランティアが増加し、取り組み内容や対象者が拡大。平成23年には「生きがい麻雀サロン」を開設。多くの男性の参加を得ている。平成27年からは安心して生活できる町のセーフティネットとして「市民後見センター四つ木」を立ち上げ、ますます高齢者を支える地域のネットワークづくりを推進しています。 また、区内の栄養系大学とは食育に関する講演会開催を契機に協働を開始。高齢者の食生活に関する課題の掘り起しと対策について検討・研究が行われ、学生に学びの場を提供しています。平成27年には連携・協力をさらに推進するため当大学と協定を結びました。その他地域の医療法人、地元薬剤師、訪問看護師等から病気の予防、健康づくりのアドバイス、警察、消防からは安心、安全な生活の仕方についてアドバイスをいただくなど町ぐるみで高齢者を見守るしくみづくりに貢献しています。	取組・事業の概要がわかる写真や図:   

厚生労働省老健局長 団体部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)

企業・団体・自治体等の名称（所在地）：大垣市社会福祉協議会（岐阜県大垣市）

活動範囲： 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。

□ 1. 複数の市区町村にまたがる広域 ■ 2. 市区町村内の概ね全域 □ 3. 中学校区単位 ■ 4. 小学校区単位 □ 5. 自治会単位

取組・活動名：あんしん見守りネットワーク事業

ホームページ URL：http://www.ogakishakyo.or.jp/

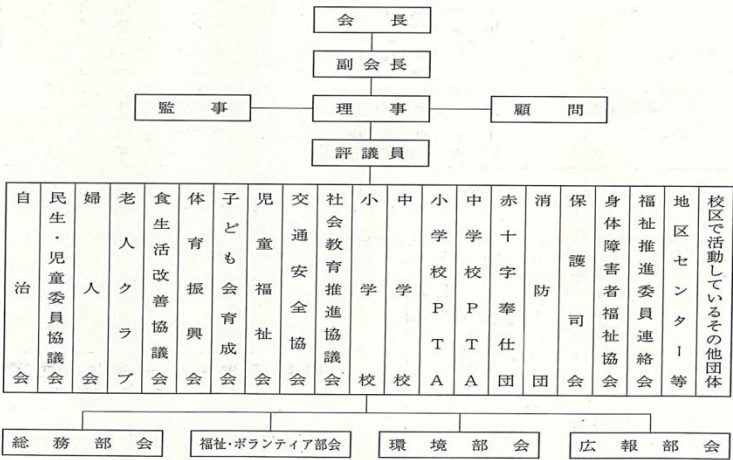
取組・事業の概要と特徴：

○概要

岐阜県大垣市において、小学校区を単位にボランティアによる包括的な高齢者のみまもりネットワーク事業を実施している。具体的事業は以下のとおりである。

- ①食事サービスの実施（昭和55年～）
- ②「緊急連絡のてびき」の作成（昭和55年～）
- ③在宅福祉サービスネットワーク事業の実施（昭和61年度～）（
- ④一人暮らし高齢者を囲む会の実施（昭和63年～）
- ⑤福祉推進委員の設置（平成3年度～）
（27年3月実績 493自治会 福祉推進委員874人）
- ⑥ふれあい・いきいきサロンの実施（平成14年度～）
- ⑦「地区社会福祉推進協議会活動計画」の策定（平成16年度～19年度）
- ⑧「あんしん見守りネットワークモデル事業」の実施（平成20年度～22年度）（27年3月実績 見守り自治会415・見守り対象者3,786人）
- ⑨「地域支援ネットワーク委員会」を設置（平成23年度～25年度）
- ⑩小地域ネットワーク会議の開催（平成23年度～）
- ⑪買い物支援（生活支援）事業の実施（平成24年度～）

取組・事業の概要がわかる写真や図：



ふれあいサロン



（２７年３月実績 実施地区２地区・７自治会・利用者１７８人・延べ回数１２７回）

⑫災害時要援護者個別支援計画作成事業の実施（平成２６年度～）（２７年３月実績・実施地区２０地区・個別支援計画作成対象者３，９３１人）

⑬防災士の養成及び地区防災士会の組織化（平成２５年度～）

（２７年３月実績・実施地区１９地区・防災士会登録者３４２人）（２７年６月１地区組織化し、全地区２０となる）

○特徴

地域を支える住民活動を推進するためには、地区社協を組織化することと地区社協の役割を明確化することが必要であることに着目して事業を展開してきた。

新たな地区福祉人材として、福祉推進委員を設置するなど工夫を重ね、一人暮らし高齢者の訪問やサロンなど、大垣市内どの地区においても実施している。

昭和５５年から開始しており、今後、地域包括ケアシステム構築の核となる活動であって、他自治体のモデルとなる活動である。

厚生労働省老健局長 団体部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)	
企業・団体・自治体等の名称(所在地): かあちゃん食堂 たまりば (北海道檜山郡江差町字愛宕町205)	
活動範囲: 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。 ☐ 1. 複数の市区町村にまたがる広域 ☐ 2. 市区町村内の概ね全域 ☐ 3. 中学校区単位 ☐ 4. 小学校区単位 ☒ 5. 自治会単位 具体的に(【例】〇〇地区、合併前の〇〇町): 江差町 愛宕(7㌔)町地区	
取組・活動名: 地域の誰もが利用出来、交流の場となる食堂	
ホームページ URL: http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/kigyo/kaatyansyokudou.htm	
取組・事業の概要と特徴: 民生委員の活動などを通じて、地域に話し相手がいなく引きこもりがちな高齢者が多いこと、昔のように上がり込んで集まる場がないこと、道すがら気軽に立ち寄り休むところがないこと等を気かけ地域の交流の場を作る事業を決意。経営する酒屋の店舗半分を、昭和40年代にどの酒屋でも行っていた店頭での立ち飲み「もっきり」をイメージし解放することとしたが、それだけでは人は集まらなと、仲間と検討し食事を提供することにした。また、利用者は高齢者のみに限定せず地域の交流の場とした。口込みで参加者が増えた。利用している高齢者から他の高齢者の状況が把握出来、楽しく時を過ごす中で安否確認が出来ると好評である。 ・開店は毎週水曜日 11:30～13:00、調理は地域のボランティアが協力 ・メニューは、定食1種類のみ。差し入れ食材や旬の食材を使かい一人暮らしでは作らないメニューを提供(カレー・三平汁・煮物など) ・メニューが好みに合わなければこなくていいというスタンス。無理はしない。楽しいおしゃべりで時間を過ごす。	取組・事業の概要がわかる写真や図:

- ・送迎が必要な利用者もいるが、そこまではお手伝いしない。(利用者が声かけ合って集まっている)
- ・2時間ほどの開設時間で30人～50人ほどが利用
- ・商店の方からは、安い旬の食材が入ったとの情報提供。町民からは、山菜、野菜、魚、昆布等の差し入れ。
- ・参加した高齢者から、他的高齢者の情報を得られる。
- ・利用者から「たまりばに来ないと隣近所の情報がわからない」との声が聞こえている。
- ・腰も曲がり移動が難しい高齢者に座って食材を切る作業を担当してもらい、できそうな仕事があるときは、手伝ってほしいと声をかけ作業を依頼していたが、最近は、「私たちが頼りに呼んでくれるのはここだけ」と自ら手伝うことがないか聞いてくるなど、活動に生きがいを持つようになった。
- ・妻が施設入所したため、1日中会話もすることなく家に閉じこもっていた80代男性は、当食堂に通い、食事を取りながら会話を楽しむうちに、車の運転を再開し、積極的に外に出かけるようになった。
- ・食堂が営業していない日も開放していて、地域住民の大切な交流の場になっている。

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)

企業・団体・自治体等の名称 **実家の茶の間** (新潟県新潟市)

活動範囲：■ 2. 市区町村内の概ね全域 (新潟市ほか)

取組・活動名：**実家の茶の間・紫竹** (新潟市地域包括ケア推進モデルハウス)

ホームページ URL：http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/koho/kohoshi/shiho/backnumber/h26/shiho141102/1_01.html (新潟市広報紙での記事)

取組・事業の概要と特徴：

【新潟市地域包括ケア推進モデルハウスとは】

赤ちゃんからお年寄りまで、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちの実現を目指し、支え合いのしくみづくりをすすめるための拠点として設置している新潟市のモデル事業。市が空家を借上げ、任意団体「実家の茶の間」との協働運営で開設している。住民参加型在宅福祉サービスまごころヘルプや地域の茶の間創設者である河田瑠子氏のノウハウを継承・波及していく新潟市の地域包括ケアシステム構築の要。常設型地域の茶の間の開催のほか、生活支援コーディネーターの研修や、家族介護実技研修も行い、また市・県内外からの視察研修も多く受け入れている。

開催日等

- ◆毎週月・水曜日 (祝祭日も開催)
- ◆午前 10 時～午後 4 時まで
- ◆参加料 300 円 (茶菓代)
 - ※こどもは無料
 - ※紫竹以外の方 年会費 2,000 円
- ◆食事をされる方別途 300 円
- ◆毎月第 3 水曜日は保健師等によるこころやからだ、暮らしの相談会を開催。
- ◆6 枚綴りの回数券は茶の間の利用以外に参加者同士がゴミ出しや電球交換等の助け合いにも使用

【実家の茶の間の理念】

『実家の茶の間』は人と人がつながる場。人と社会がつながる場。人の役に立ち、自分を活かす場。一方的にお世話をしたり、されたりするのではなく、気軽に助け合える場。『実家の茶の間』の利用者とはサービスの利用者ではなく、“場”の利用者です。



代表：河田瑠子さん

取組・事業の概要がわかる写真や図：

『実家の茶の間・紫竹』の取組み (みんなが作り上げていく居場所に)



参加者自らが役割を見出しながら、建物改修や地元周辺地図、本日の献立表の作成を率先して手伝う。



当番は手挙げ方式で、できる人ができる時に。当番表は自主的に名前を書き込むだけにしている、大抵いつも埋まっている。



茶碗やマグカップではなく紙コップを使うのは、衛生管理につながるほか、自分の名前をマジックで書くことで、名刺の代わりにもなり、相手の名前がすぐ分かり、会話ははずむ。



寄付物品による即売バザーも行い、運営費に充てている。また、エアコンやストーブ、冷蔵庫などは地元企業からの寄付。

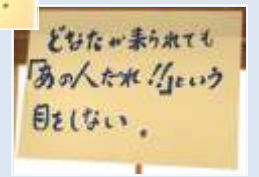
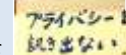
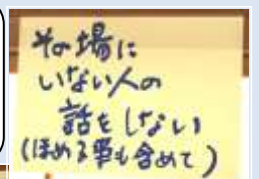


参加者は日平均約40人。午前10時から午後4時まで出入り自由。

みんなの決まりごと

- ☑どなたが来られても 「あの人誰？」という目をしてしない
- ☑プライバシーを聞き出さない
- ☑その場にはいない人の話をしない

『実家の茶の間』には、互いに思いやりながら、心地いい場所を作るためにいくつかのルールがあり、さりげなく壁に貼り紙が掲示されています。その他、「エプロン着用は台所だけ」や、「上座や下座を作らない」など、居心地の良さに妥協しないのが河田さんのモットーです。



厚生労働省老健局長 自治体部門 優良賞

第4回 健康寿命をのばそう！アワード (介護予防・高齢者生活支援分野)

企業・団体・自治体等の名称（所在地）：御船町（熊本県上益城郡御船町御船995-1）

活動範囲： 下記より一つ選んで、□を■に変更してください。また、具体的な市区町村名、地区名などをご記入ください。

□1. 複数の市区町村にまたがる広域 ■2. 市区町村内の概ね全域 □3. 中学校区単位 □4. 小学校区単位 □5. 自治会単位
具体的に（【例】〇〇地区、合併前の〇〇町）：御船町

取組・活動名：住民主体の介護予防活動（循環型の介護予防システム）

ホームページ URL：kumamoto-net.ne.jp/town_mifune

取組・事業の概要と特徴：

御船町では、平成15年度から住民主体の介護予防の取組みを推進するため、「地域の中で、予防する仕組みを創ろう」と介護予防サポーターを養成し、地域介護予防活動を始めた。平成18年の介護予防事業の開始を機会に小学校区単位（10ヶ所）における住民主体の介護予防活動「元気クラブ」が始まり、平成19年に介護予防サポーター連絡協議会を設置し地域活動の推進を図った。

同年、町社会福祉協議会が実施主体で「小地域ふれあいネットワーク推進事業」が開始され、介護予防サポーターや関係者が中心となって各行政区単位で地域サロンが拡大していった。平成24年度に専門職（理学療法士、運動指導士等）による短期集中型の「元気が出る学校」を開始し、4ヶ月の教室終了後に元気クラブや地域サロンへ移行する循環型の介護予防システムができた。平成25年度末現在、地域サロンは85行政区中72行政区で活動が拡大し、高齢者人口における参加者は32%を占めるようになった。

元気クラブ参加者は、自宅でも体操等に取り組む参加者が多いため、運動機能が維持・向上しているケースが多くみられる。

介護予防サポーターは、活動することの楽しみや参加者の笑顔が励みになり、自身が社会に貢献していることに自信を持っている。更に、介護予防サポーターや地域サロンの関係者が中心となって「見守り隊」を組織し、要援護者の見守り活動や高齢者世帯等へ「緊急安心カード」を設置する等の活動も取り組まれている。

平成25年度から日本老年学的評価研究（JAGES）と調査研究協定を締結し介護予防事業の評価を行っている。この調査の地域診断データ結果から、全国の自治体間と比較して地域の支え合い等のソーシャルキャピタルは高く社会参加の割合も高かった一方、閉じこもりの割合が高いことが確認された。また、町内10地区間比較データからは、

取組・事業の概要がわかる写真や図：



中山間地と平坦地の間の閉じこもりの格差が大きいことが確認され、閉じこもり格差の是正の必要性が明らかになった。平成 26 年度は地域包括ケア推進会議を開催し地域診断結果を庁内各部署と共有し、第 6 期介護保険事業計画では、中山間地域の閉じこもり対策を重点施策として、対象地域に介入し、住民と協働し、通いの場の設置や会食・配食等の生活支援サービスを包括的に提供できるよう体制整備を行う予定。

介護予防事業の評価

健康とくらしの調査
既存資料等から
地域診断



多部署連携会議
(地域包括ケア推進会議)
地域課題の決定、地域格差の是正
↓
中山間地域の関心も政策



あなたが外出する頻度はどのくらいで
すか。(畑や隣近所へ行く、買い物、通院など
を含みます)

[illegible][illegible]

住民ワークショップの結果
創出された新たな事業